

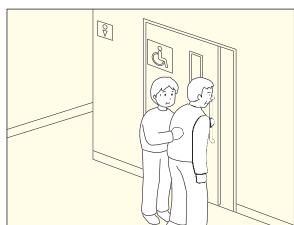
付き添う人にも配慮を 介助者を悩ますパブリックトイレの課題

認知症の人が外出時にトイレを利用する際、夫妻や父娘など異性の介助者が付き添うケースが少なくありません。トイレ利用時に付き添う際、どのような点に困っているのか。介助者に配慮すべきポイントを探ってみました。

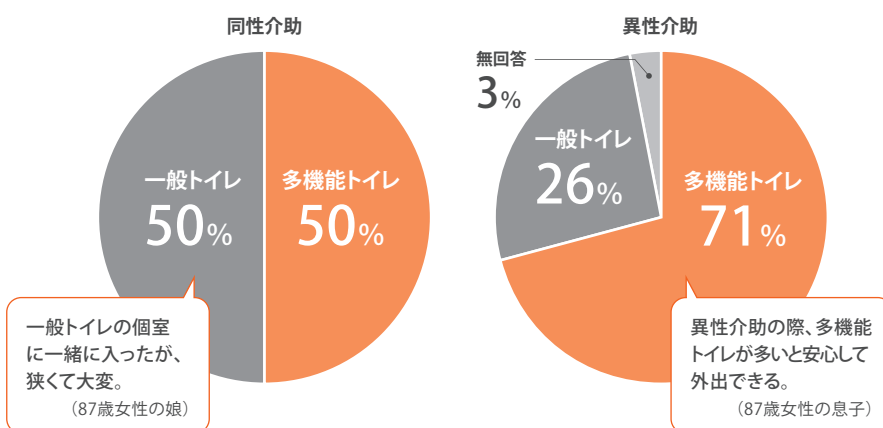
※出典:「認知症高齢者の公共トイレの利用実態に関する調査研究」(日本工業大学) n=198 監修:野口祐子(日本工業大学建築学部建築学科生活環境デザインコース)

多くの人たちが「多機能トイレ」を利用

外出時にトイレに付き添う際、同性介助では5割、異性介助では**7割以上**の人が、**多機能トイレ**を利用すると回答。「二人で一緒に入れる広いトイレ」、特に異性介助の場合は「**男女一緒に入れるトイレ**」のニーズが高いことがわかりました。



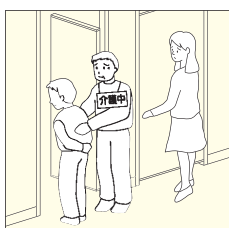
【外出時に利用するトイレ】



異性介助の際、4割近くが「視線が気になる」

トイレ利用時の家族の付き添いについて聞いたところ、**異性介助**の割合が**約6割**。そして、異性介助の際、「**周囲の視線が気になる**」と回答した人が**約4割**いました。「介護中」の札を首から下げ、女性トイレに入る妻を介助するなど、男女別の一般トイレで苦労したり、トラブルを経験した人も少なくないようです。

【外出時のトイレ利用で困ること】



異性介助中の
周囲の視線

39%

「介護中」の札がないときは、少し恥ずかしかった。

(68歳男性の妻)

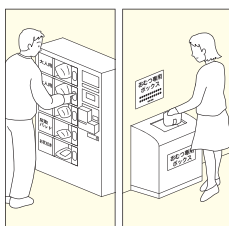
多機能トイレと一緒に入ったが、周囲の視線が厳しかった。

(72歳男性の妻)

介助者にとって悩ましい「おむつ」問題

外出時に付ける下着について多いものを聞いたところ、**64%**が外出時に**尿とりパッドやおむつ**を使用していることがわかりました。さらに、外出時のトイレ利用での困りごとについては、**3割近く**の人が「**おむつの処理**」と回答。自由回答でも「**おむつを捨てられるゴミ箱**」や「**大人用おむつの自動販売機**」の設置を求める意見が複数見られました。

【外出時のトイレ利用で困ること】



おむつの処理

28%

乳幼児だけでなく、大人用おむつを捨てられる場所がほしい。

(72歳女性の娘)

替えのおむつの自動販売機等があると助かる。

(72歳男性の妻 / 84歳男性の娘)

POINT!

異性介助への配慮として男女一緒に入れるトイレが必須
大人用おむつの処理対策も求められます

多機能トイレとは別の選択肢 男女共用「広めトイレ」

認知症の人が一般トイレを利用した際、トイレから出た後に介助者とはぐれてしまうことがあります。多機能トイレと一緒にすることでそれを回避できますが、車椅子使用者に気兼ねして、多機能トイレの利用を躊躇してしまうケースもあるようです。

※出典:「認知症高齢者の公共トイレの利用実態に関する調査研究」(日本工業大学)n=198 監修:野口祐子(日本工業大学建築学部建築学科生活環境デザインコース)

一般トイレに入った後、介助者とはぐれてしまうことも…

一般トイレに入った後、**介助者とはぐれてしまった**ことがある認知症の人は**15%**。警察に捜索願いを出すなど、当事者にとっては、とても大変な状況に陥ってしまいます。また、多機能トイレと一緒に入っても、**周囲の視線が気になったり、車椅子使用者が優先のため、利用づらい**ということもあるようです。

【外出時のトイレ利用で困ること】



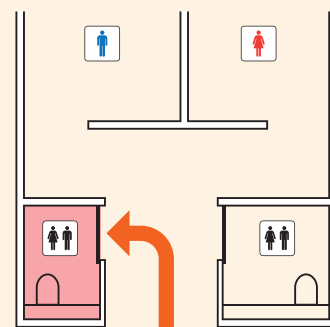
トイレを出て
道に迷った、
介助者とはぐれた

15%

認知症の父を待たせて、
女性トイレに入るが、混んでいて
困ることが多い。(86歳男性の娘)

一般トイレに入った後、
介助者とはぐれる可能性が
あるので不安。(67歳女性の娘)

【男女共用「広めトイレ」のご提案】



アクセスしやすい位置に、男女共用「広めトイレ」を設置することで、多機能トイレへの集中を緩和

SOLUTION 認知症の人と介助者が一緒に入れる、男女共用の「広めトイレ」

一般トイレでは、個室に一人で入るため本人が不安を感じてしまうことや、介助者とはぐれてしまうことがあります。介助者も用を足している間に、本人を一人で待たせてしまうことに不安を感じています。多機能トイレ以外に異性介助者も一緒に入ることができるトイレを設置することで、多機能トイレの混雑緩和にもつながります。

idea 01

異性介助者も気にすることなく入れる「男女共用」のサインを入口に設置。サインは、背景とコントラストをつけて視認性アップ。



idea 02

介助者がおむつ交換しやすいように、便器前のスペースを広めに確保。



idea 03

便器横についたて(カーテン)とベンチを設置。本人と介助者がそれぞれ用を足している間は、お互いベンチで待つことができる。仕切りによって、プライバシーに配慮を。



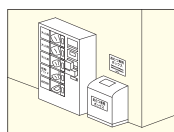
idea 04

手荷物置きや紙おむつ交換のための荷物スペースを確保。



idea 05

男女共用「広めトイレ」付近に、大人用おむつ自動販売機とゴミ箱を設置。



idea 06

立ち座りの動作サポートや転倒防止のために手すりを設置。さらに、壁面とコントラストをつけて視認性アップ。



POINT!

男女共用の「広めトイレ」は可能な限り一人で用を足すことができる、お互いの姿を見失わず見守ることができるトイレです